

結果の概要

1 家族の状況

(1) 配偶者及び同居者の状況

「親なし子ありの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合が21.5%

「三世代世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合が14.6%、「親あり子なしの世帯」に変化した割合が12.4%

第1回調査から第5回調査までの同居者の構成をみると、「夫婦のみの世帯」は第1回 20.5%から第5回 28.4%と増加しており、「親なし子ありの世帯」は第1回 39.2%から第5回 33.4%、「三世代世帯」は第1回 22.8%から第5回 18.9%と減少している(図1)。

第1回から第5回で、同居者の構成がどのように変化したかをみると、「夫婦のみの世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合は 10.2%となっている。「三世代世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合が 14.6%、「親あり子なしの世帯」に変化した割合が 12.4%となっている。

「親あり子なしの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 13.3%となっており、「親なし子ありの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 21.5%となっている。(表1)

図1 第1回調査から第5回調査までの同居者の構成

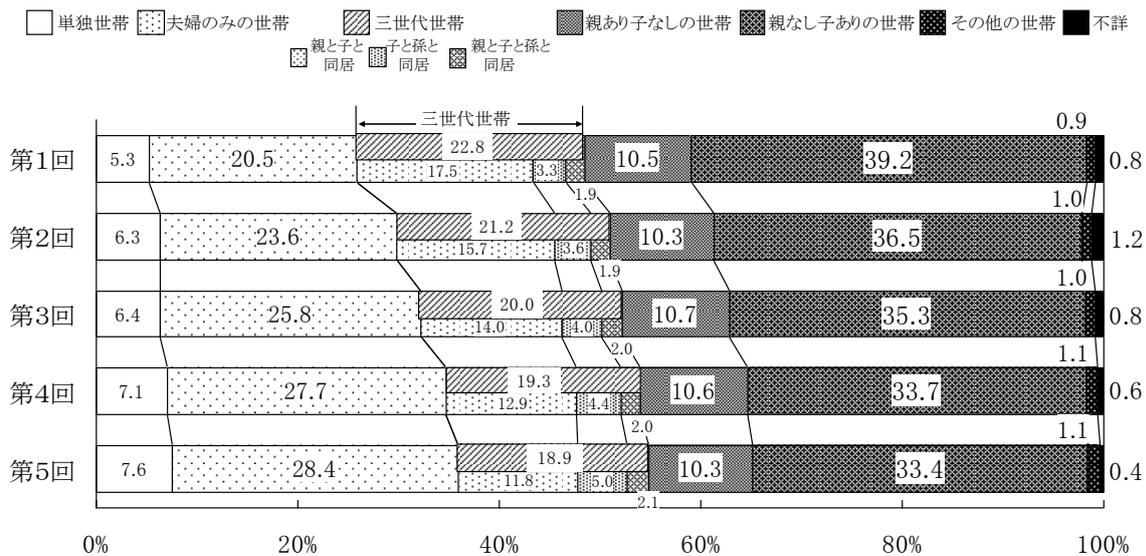


表1 同居者の構成の変化

(単位: %)

		第5回の同居者の構成							
		総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	
第1回の同居者の構成	総数	(100.0)	100.0	7.6	28.4	18.9	10.3	33.4	1.1
	単独世帯	(5.3)	100.0	79.1	5.2	2.8	3.1	7.4	2.0
	夫婦のみの世帯	(20.5)	100.0	2.8	78.8	4.7	2.2	10.2	0.4
	三世代世帯	(22.8)	100.0	1.2	7.6	63.7	12.4	14.6	0.4
	親あり子なしの世帯	(10.5)	100.0	8.4	13.3	11.4	62.1	2.7	1.9
	親なし子ありの世帯	(39.2)	100.0	3.1	21.5	5.1	0.6	69.1	0.3
	その他の世帯	(0.9)	100.0	14.7	13.9	3.6	4.0	5.6	57.8

注: 総数には第1回及び第5回の同居者の構成の不詳を含む。

第1回調査時に配偶者がいる者のうち、第5回調査でも配偶者がいる割合は 97.4%

配偶者の有無について、第1回調査と第5回調査の変化をみると、第1回及び第5回で「配偶者あり」は 97.4%となっており、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は 6.1%、第1回「配偶者あり」で第5回「配偶者なし」は 2.3%となっている。

年齢階級別にみると、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は「54～59歳」の方が高くなっている。

男女別にみると、第1回「配偶者なし」で第5回「配偶者あり」は男の方が高く、第1回「配偶者あり」で第5回「配偶者なし」は女の方が高くなっている。(表2)

表2 配偶者の状況の変化

(単位:%)

		第5回の配偶者の有無			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	
性、 年齢階級、 第1回 の 配 偶 者 の 有 無	総数	(100.0)	100.0	85.5	14.2
	配偶者あり	(86.9)	100.0	97.4	2.3
	配偶者なし	(13.0)	100.0	6.1	93.5
	54～59歳	(100.0)	100.0	85.9	13.9
	配偶者あり	(86.9)	100.0	97.8	2.0
	配偶者なし	(13.0)	100.0	6.7	93.1
	60～63歳	(100.0)	100.0	84.8	14.7
	配偶者あり	(86.7)	100.0	96.9	2.6
	配偶者なし	(13.1)	100.0	5.4	94.1
	男	(100.0)	100.0	87.3	12.4
	配偶者あり	(88.0)	100.0	98.3	1.5
	配偶者なし	(11.8)	100.0	6.5	93.2
	54～59歳	(100.0)	100.0	86.4	13.3
	配偶者あり	(86.9)	100.0	98.4	1.4
	配偶者なし	(13.0)	100.0	7.1	92.6
	60～63歳	(100.0)	100.0	88.5	11.3
	配偶者あり	(89.5)	100.0	98.2	1.7
	配偶者なし	(10.3)	100.0	5.7	94.0
	女	(100.0)	100.0	83.7	15.9
	配偶者あり	(85.8)	100.0	96.6	3.0
配偶者なし	(14.1)	100.0	5.8	93.8	
54～59歳	(100.0)	100.0	85.5	14.3	
配偶者あり	(87.0)	100.0	97.3	2.5	
配偶者なし	(12.9)	100.0	6.3	93.5	
60～63歳	(100.0)	100.0	81.4	17.9	
配偶者あり	(84.2)	100.0	95.7	3.6	
配偶者なし	(15.7)	100.0	5.2	94.2	

注:総数には第1回及び第5回の配偶者の有無の不詳を含む。

(2) 介護をしている状況と健康状態、就業状況の変化

第1回調査以降に健康状態が「わるい」に変化した割合は、介護を「している」に変化した者で高い

第1回調査からの介護をしている状況の変化をみると、「第1回から介護をしている」2.0%、「介護を「していない」から「している」に変化」6.4%、「介護を「している」から「していない」に変化」3.2%、「第1回から介護をしていない」56.5%となっている。

第1回からの健康状態の変化を、第1回からの介護をしている状況の変化別にみると、健康状態が「よい」から「わるい」に変化した割合は、「介護を「していない」から「している」に変化」した者で 8.9%と高くなっている。(表3)

表3 第1回調査からの介護をしている状況の変化別にみた第1回調査からの健康状態の変化

(単位:%)

		第1回からの健康状態の変化					
		総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	その他の変化
し第1回から状況の介護変化を	総数	(100.0) 100.0	60.6	5.9	5.1	6.8	17.7
	第1回から介護をしている	(2.0) 100.0	57.6	5.7	6.7	6.7	21.1
	介護を「していない」から「している」に変化	(6.4) 100.0	59.2	5.3	5.4	8.9	18.6
	介護を「している」から「していない」に変化	(3.2) 100.0	56.4	8.0	6.1	7.9	18.2
	第1回から介護をしていない	(56.5) 100.0	63.4	5.5	4.6	6.3	17.0
	その他	(9.8) 100.0	56.6	6.0	6.1	7.7	19.3

注:総数には第1回からの介護をしている状況の変化及び第1回からの健康状態の変化の不詳を含む。

第1回調査以降に「退職」した割合は、第1回調査以降に介護を「している」に変化した者で高い

第1回調査からの就業状況の変化を、第1回からの介護をしている状況の変化別にみると、「退職」(第1回に仕事をしていて、第5回までに仕事をしていない状態に変化)した割合は、「介護を「していない」から「している」に変化」した者で 14.4%と高くなっている。また、「就業」(第1回に仕事をしておらず、第5回までに仕事をしている状態に変化)した割合は、「介護を「している」から「していない」に変化」した者で 4.3%と高くなっている。(表4)

表4 第1回調査からの介護をしている状況の変化別にみた第1回調査からの就業状況の変化

(単位:%)

		第1回からの就業状況の変化						
		総数	第1回から仕事あり	就業	退職	(再掲)第5回に退職	第1回から仕事なし	その他
し第1回から状況の介護変化を	総数	(100.0) 100.0	64.9	3.0	11.2	4.8	13.3	7.5
	第1回から介護をしている	(2.0) 100.0	48.4	2.5	12.8	4.4	28.4	8.0
	介護を「していない」から「している」に変化	(6.4) 100.0	59.2	2.6	14.4	5.8	15.6	8.0
	介護を「している」から「していない」に変化	(3.2) 100.0	56.8	4.3	10.9	3.8	21.6	6.4
	第1回から介護をしていない	(56.5) 100.0	68.0	2.7	10.5	4.7	11.9	6.9
	その他	(9.8) 100.0	61.9	3.4	12.6	5.4	14.4	7.7

注:総数には第1回からの介護をしている状況の変化及び第1回からの就業状況の変化の不詳を含む。